

泊3号炉 耐震設計方針説明スケジュール

2023年7月24日
北海道電力株式会社

ID	審査項目	通しNo.	内容	作業項目 における 作業順序	2021年度												2022年度												2023年度											
					3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月											
1	基準地震動の策定	2	策定した基準地震動の妥当性	1	資料作成																																			
2			敷地ごとに震源を特定して策定する地震動による基準地震動の設定	1																																				
3			震源を特定せず策定する地震動による基準地震動の設定	1																																				
4	プラント側審査の主要な説明項目	21	耐震設計方針及び耐津波設計方針に係る審査実績のない設計条件・評価手法の採用など																																					
5			施設の耐震評価に用いる地下水の設定方針		資料作成																																			
6			施設の耐震評価に用いる地盤の液状化の評価方針		資料作成																																			
7			既工認との手法の整理(耐震設計方針含む)																																					
8	本文	1	耐震設計方針																																					
9			別添-1 設計用地震力																																					
10			別添-2 動的機能維持の評価																																					
11			別添-3 弾性設計用地震動・静的地震力による評価																																					
12			別添-4 上位クラス施設の安全機能への下位クラス施設の波及的影響の検討について																																					
13			別添-5 水平2方向及び鉛直方向の地震力の組合せに関する影響評価方針																																					
14			別添-6 屋外重要土木構造物等の耐震評価における断面選定の考え方																																					
15			別添-7 主要建屋の図面集																																					
16			別添-8 入力地震動について																																					
17			別紙-1	1	既工認との手法の相違点の整理(設置許可変更申請段階での整理)																																			
18			別紙-2	1	上位クラス施設の安全機能への下位クラス施設の波及的影響の検討																																			
19	別紙-3	1	水平2方向及び鉛直方向の地震力の適切な組合せに関する検討について																																					
20	別紙-4	1	動的機能維持評価の検討方針について																																					
21	別紙-5	1	地震時における燃料被覆管の閉じ込め機能の維持について																																					
22	別紙-6	1	土木構造物の解析手法及び解析モデルの精緻化について																																					
23	別紙-7	1	後施工せん断補強筋による耐震補強について																																					
24	別紙-8	1	屋外重要土木構造物等の耐震評価における断面選定について																																					
25	別紙-9	1	地盤の液状化の評価方針について																																					
26	別紙-10	1	地下水設定方針について																																					
27	別紙-11	1	地下水排水設備について																																					

凡例

- ▽: 資料提出(実績は黒色で塗りつぶし)
- ☆: 審査会希望時期(実績は黒色で塗りつぶし)
- ★: 審査期間(ヒアリング~審査会)
- ①: ヒアリング1回目実施時期
- ②: ヒアリング2回目実施時期
- ▽: 資料提出時期
- ☆: 審査会合時期
- C☆: コメント回答の審査会合

凡例

- ①: ヒアリング1回目実施時期
- ②: ヒアリング2回目実施時期
- ▽: 資料提出時期
- ☆: 審査会合時期
- C☆: コメント回答の審査会合

審査会合のコメント
回答

【スケジュールの作成方法について】

- スケジュールの上段では審査会合で提示するスケジュールから、耐震設計方針及び耐津波設計方針に係る内容について抽出しております。
- それを基にスケジュールの下段にて前タスクとなる事項との関連を考慮して資料提出、ヒアリング、審査会合の希望時期をプロットしたうえで、ヒアリングや審査会合が輻輳する時期を極力少なくするように配置しております。
- 中でもクリティカルパスに係る箇所およびサブクリティカルとなり得る箇所については背景色を変えております。加えてクリティカルパスとなる箇所については下部に矢印も表記しております。
- ヒアリングや審査会合の輻輳状況を確保するため、最上段に耐震設計方針と耐津波設計方針に係るヒアリング及び審査会合の状況がわかるように各々を集計した結果を示しております。
- 上記の検討結果を踏まえて、スケジュール上段のバーを更新し、更新前のバーは灰色の影で示しております。

